

| | | | | | | | |
|------|-----------------------------|--------|-------|------|---------------|---------------|------|
| 団体名 | 名古屋経済大学 国際交流室 | | | | | | |
| 事業名 | 日本学セミナー in 犬山 2019 | | | | | | |
| 実施期間 | 2019年10月29日～11月3日 | | | | | | |
| 場 所 | 堀部邸(愛知県犬山市)、名古屋経済大学(愛知県犬山市) | | | | | | |
| 参加者数 | 外国人留学生 | その他外国人 | 日本人学生 | 地域住民 | スタッフ 大学関係者 | その他 (来場者等) | 合計 |
| | 65 | | 30 | 20 | 10 | 5 | 130名 |

<実施内容>

本事業では、愛知県犬山市の産官学の協力により、愛知県で学ぶ留学生が日本人学生とともに参加する「日本学セミナーin犬山2019」を2019年11月2日(土)・3日(日)に犬山城、犬山城下町、堀部邸(国登録有形文化財)において開催した。また、事前に留学生が参加するプレセミナーを10月29日(火)～11月1日(金)に開催した。

本事業の参加学生たちは、日本の政治・経済・歴史・文化に関する講義を日本人学生とともに受講し、犬山市に集積する文化遺産・博物館を見学した。また、留学生と日本人学生の混成チームが犬山の地域資源を活用した観光ビジネスモデルのプランを練り、発表する観光ビジネスコンテストを開催した。観光ビジネスコンテストには、地域の企業関係者、NPO関係者、市民が参加し、活発な質疑応答が行われた。

また、留学生たちは、犬山市民の家でのホームステイや犬山ユースホステルでの滞在、市民ボランティアによる犬山城と犬山城下町の見学、交流会などを通して、犬山市民との交流を深めることができた。

本事業を実施することにより、①木曾川・中山道の交差する要衝として繁栄した犬山に集積する文化遺産・産業遺産・博物館を生かした留学生のための参加型国際教育プログラムを開発すること、②地域の企業・NPOが協力する観光ビジネスコンテストで留学生が実践的なビジネス日本語の技術を学ぶ機会を提供したこと、③留学生と地域市民の双方向による交流及び理解が促進されたこと、などの成果を挙げたと考えている。

今後は、さらに講義や見学などのプログラムを充実させ、より多くの大学の留学生と日本人学生、企業関係者や市民が参加できるようにするために、産官学の連携体制を強化することが必要であると考えている。そこで、2020年度は犬山市国際交流協会、名古屋経済大学、NPO法人古代瀬波の里・文化遺産ネットワーク、犬山商工会議所が中心となって実行委員会を組織し、「日本学セミナーin犬山2020」を開催することで合意した。

<記録写真>



日本文化史の講義



文化遺産の見学



観光ビジネスコンテスト

<参加者からのコメント>

匿名

素晴らしい体験でした。日本の文化と歴史を深く理解できました。いろいろな日本人や留学生と友達になることができ嬉しかったです。

欧星さん(中国)/Ou Xing

日本・ベトナム・中国の学生と3日間ともに生活したことで、普段の大学での勉強よりも深く文化の違いを体感することができて、大変満足しました。